

2026年2月発行

安房普及だより

〒294-0045 千葉県館山市北条402-1 TEL: 0470-22-8132 FAX: 0470-22-0097
ホームページアドレス <http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-awa/awa/fukuudayori.html>
発行: 千葉県安房農業事務所改良普及課・安房農林業振興協議会普及事業部会



安房地域の農業に係る意見交換会



意見交換会での事例発表



経営訪問研修会②



経営訪問研修会①

き活動していきます。
技術力の向上に加え、地域農業の更なる発展に向け引き続き活動していきます。

当協会では会員の経営力・理解を深め、連携して取組める関係づくりにつなかりました。
経営訪問研修会では、会員間の交流と経営改善を図っています。関係機関との意見交換会では、「担い手確保」をテーマに話し合いました。これらの取組により、会員の経営力向上と、安房地域全体の農業について会員・関係者皆が理解を深め、連携して取組める関係づくりにつなかりました。

農業士は地域農業の担い手として、経営改善や農業振興などに積極的・意欲的に取り組んでいます。当協会では本年度、経営訪問研修会及び関係機関（市町・JA・県）との意見交換会を開催しました。

安房地区千葉県農業士協会の活動について...

施設園芸の高温対策

近年、夏季の暑さはますます厳しく、作物の栽培を難しくしています。施設園芸の高温対策は、「換気」「遮光・遮熱」「冷却」の三つを組み合わせることでより高い効果を発揮します。

「換気」については、床面積に対する開口部面積を最大化させることが重要です。天窗、側窓、肩、妻面の換気の可否や広さを確認してみましよう。その上で、循環扇等で暑い空気を外に排出するのも効果的です。

「遮光・遮熱」については、資材を張る位置を考慮しましょう。施設内よりも屋根の上部に設置する方が施設内は暑くなりにくいです。また、植物にとって光は重要であるため、遮光しすぎには注意しましょう。

「冷却」については水の気

化熱を利用する頭上散水や細霧冷房が主流です。うまく活用することで外気より低い温度にすることが可能です。近年、外気導入装置や遮熱剤の利用がハウスの暑熱対策として注目されています。

事例1「外気導入装置」

外気導入装置は、ハウス内に強制的に外気を取り込み、暑い空気を排出することで、ハウス内の温度を外気温に近づけることができます。空気の流れによって植物の蒸散を促す効果や、CO₂の供給効果も期待できます。設置の際には吸気口を必ずハウス外に設置し、外気がハウス内に均一に広がるようダクトを設置します。害虫が侵入する恐れがあるため、吸気口に防虫ネット等を適宜取り付けます。

事例2「遮熱剤」

遮熱剤とは、光合成に必要な光を透過させ、ハウス内気

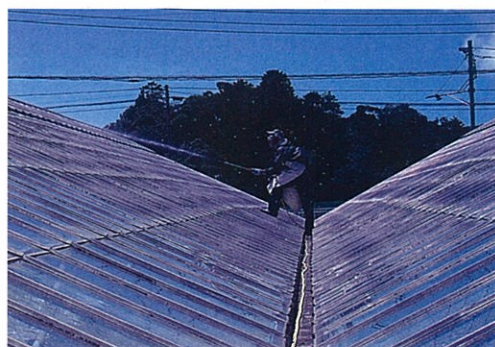
温上昇に影響する近赤外線を反射させることで、遮光率をあまり落とさずに温室内の温度を低下させる塗布剤を指します。現地試験では、遮熱剤を塗布することで、塗布していないハウスより日中の最高気温を約1〜2℃低下させることができました。また、内張に遮光カーテン(50%遮光)を展開したハウスと、遮光カーテンを使用せず遮熱剤を塗布したハウスを比較した試験では、後者は前者に比べて明るさを確保しつつハウス内気温が低下し、作物の生育も早まる結果となりました。一方、

資材価格が高いうえに毎年購入する必要がある、天候による調整ができない、塗布や除去作業に時間がかかる、塗布時にハウスに昇らなければならぬ等の欠点もあるため、費用対効果をよく検討したうえで導入する必要があります。

当事務所では、高温対策技術について引き続き検討を進めてまいります。詳細はお問い合わせください。



外気導入ダクトの設置例



遮熱材塗布の様子

ダイロンゾルとザクサ液剤を用いた水田畦畔除草技術

水田畦畔や大きな法面での雑草管理は、足場が悪く重労働なうえ、刈払機では危険を伴います。そこで、除草剤を用いた雑草管理技術（DZ作戦）について紹介します。

◎DZ作戦とは

土壌処理剤ダイロンゾルと非選択性除草剤ザクサ液剤を混用して散布することで水田畦畔雑草の発生を約45～60日間抑制することができるとは、管理労力の軽減が図られます。

ダイロンゾル（略称：D）

雑草発生前に全面土壌散布を行うことによって、イネ科雑草等の発芽を抑制します。カーメックス顆粒水和剤でも同等の効果が期待されます。

ザクサ液剤（略称：Z）

非選択性の除草剤で散布時

に生えている雑草を枯死させますが、根まで枯らさないため、畦畔崩壊リスクの低い薬剤です。バスタ液剤でも同等の効果が期待されます。

※登録内容は令和7年12月時点。農薬使用に当たっては、ラベルを確認し、使用基準を遵守しましょう。

◎DZの使用結果

5月27日に草刈りを行い、6月4日に除草剤の散布を行いました。結果として7月の草刈りを1回省略できました。また、DZ散布後60日間はイネ科雑草の出穂はなく、斑点米カメムシ対策になりました。冬期にカソロン6.7を散布するとさらに効果があります。



DZ散布40日後（7月14日）

ビワ山にてドローンによる害虫防除が始まっています

ビワは、主に山の急傾斜地で栽培されており、寒害を受けにくく安定生産が可能です。しかし、病虫害防除などの作業負担が大きいことが問題となっています。そこで、省力的な防除技術として、ドローンによる防除を令和3年から検討してきました。

現地検討等を重ねた結果、防除効果やコストを加味して現場での活用が可能であると判断し、令和6年からJA安房が主体となつて、房州枇杷組合連合会の希望者を対象にドローンでの共同防除を開始しました。

令和7年（2年目）は、5月に約10名のほ場で防除を実施しました。ドローンは、急斜面のほ場でも散布が可能な機体を導入し、さらに事前にほ場の地形を測量することで、

散布当日は自動航行で効率的に作業を進めることができました。その結果、散布作業はひとほ場あたり数分で完了し、従来と比べて大幅な省力化が実現しました。

令和8年以降も実施予定であり、県で発出している「病虫害発生予報」や「収穫盛期予測情報」を活用し、生産者毎の防除実施の判断や、ドローンでの共同防除実施適期の検討を行っていきます。

詳細等は当事務所にお問い合わせください。



ビワ山でのドローン防除の様子

**本年度認証された
千葉県指導農業者
千葉県農業者士
紹介**

地域の農業後継者の育成に取り組み農業者を指導農業者、地域農業をけん引する青年農業者を農業者士として、千葉県知事が認証しています。

今回新たに指導農業者1名、農業者士1名の方が認証されましたので御紹介します。

◆指導農業者

渡邊 正直 氏 (館山市)

施設びわ、露地びわの栽培を行い、優れた技術力を生かして複数の品種を手がけ、高品質なびわづくりに邁進されています。売上向上のため、



販売規格やパッケージに独自の工夫を凝らしており、

渡邊さんのびわは自宅直売所のほか、道の駅や館山市ふるさと納税返礼品として人気を博しています。

◆農業者

寺田 拓也 氏 (館山市)

レタスを中心に、露地野菜、施設野菜、水稲の栽培に取り



組んでいきます。レタス栽培において、高い栽培技術

と徹底した選別、べたがけをはじめとする省力化の工夫により、高品質なものを安定して出荷しています。

所属する神戸レタス育成会では、「かんべレタス」のPRや、小学校でのレタス栽培体験指導等、積極的に活動されています。

**安房地域活性化フォーラム
の開催について…**

令和7年12月3日に安房地域活性化フォーラムが開催され、表彰式では、安房農業賞2名、安房農業奨励賞2名が表彰されました。

【安房農業賞】

三井清和氏 南房総市・花き

篠原茂幸氏 鋸南町・野菜

【安房農業奨励賞】

齊藤拓朗氏 館山市・果樹

笹子貴主氏 南房総市・畜産



三井氏、篠原氏、齊藤氏、笹子氏
表彰式の様子

表彰式後、基調講演として合同会社AMAC代表社員の浅田正彦氏を招き、「安房地域における鳥獣害の現状と課題」地域計画と有害鳥獣対策を通じた持続可能な地域づくり」と題した講演会が開催されました。

近年、安房地域ではカラス被害が増加していることから、カラス対策について詳しくご説明いただきました。また、獣については、減少している捕獲従事者の技術向上や地域ぐるみで捕獲計画を考えて実行することの大切さ等を御講演いただきました。

フォーラムの開催と合わせ、第11回安房地域ふるさと農山漁村写真コンクールの入賞作品の展示も行いました。これから3月にかけて安房地域や千葉市で写真を展示し安房の魅力を広くPRしていきます。